

札幌商工会議所  
業界動向調査結果(6月)

平成 21年 8 月

札幌商工会議所 総合企画部

---

目 次

---

札幌商工会議所 業界動向調査

調 査 概 要 . . . . . 2

実施調査結果(調査内容: 6月分)

総 括 . . . . . 2

6月の業界動向 . . . . . 3

札幌商工会議所  
業界動向調査

調査概要

- 趣 旨 本制度は、市内主要企業にご依頼し、各業界の動向をお聞かせ頂き当所の諸事業に反映させる一方、会員・部会役員への情報提供の資料として活用致します。
- 札幌市を代表する13社（総括含む）から動向を聞き、結果を主要指標の動向と共に「札幌市及び道内の最近の経済概況」として取り纏め、公表するものです。
- 調査内容 ①今月の業界動向について  
a. 各部門の対前年同期比売上の推移 b. 取扱量の推移 c. 季節的要因  
②先行きへの見通し及びその要因  
(売上・取扱量の推移、季節的要因などから得られる、先行2～3ヶ月の予測)  
③トピックス  
a. 社会・国際情勢による変動 b. 新技術事情 c. 業界再編の動向
- 調査方法 調査は隔月で実施

6月調査結果

《総 括(5-6月期)》

道内経済は、厳しい状況が続いている。公共投資は補正予算の発注効果から持ち直しているが、設備投資は減少している。個人消費は、雇用・所得環境の厳しさから節約志向が強まり低迷している。また、住宅投資も大幅に減少している。

設備投資は、オフィスビル建設などが下支えているが、電気機械、輸送用機械、小売業などを中心に減少している。住宅投資では、5月の新設住宅着工戸数は雇用不安などから前年比47.5%減と大幅に減少し、8ヶ月連続のマイナスとなった。利用関係別では持ち家のほか、供給過剰感のある貸家、需要低迷から着工抑制の強い分譲がいずれも減少した。

個人消費は、5月の大型小売店売上高は、新設店を含めた全店ベースでは同3.3%増となったが、既存店ベースでは前年比4.0%減と低迷した。業態別（既存店ベース）では、百貨店は、主力の衣料品のほか身の回り品も大幅に落ち込んだ。スーパーは、主力の飲食料品がわずかに減少したほか、衣料品と身の回り品も減少した。5月の来道客数は旅行需要の低迷に加え、新型インフルエンザの流行が響き、前年比10.2%減と12ヶ月連続で前年を下回った。また、5月の公共工事請負金額は、道および市町村からの発注が前年を上回ったものの、国が大きく下回り、前年比11.0%減と5ヶ月ぶりで減少した。

一方、5月の鉱工業生産指数は、前月比では2.0%増と2ヶ月連続で持ち直したが、前年比では10ヶ月連続低下の19.2%減と大幅な落ち込みが続いている。電気機械工業、輸送機械工業など多くの業種で前年を下回った。

雇用情勢では、5月の有効求人倍率（常用）は、前年比0.12ポイント低下し0.31倍となった。新規求人数は、製造業、サービス業、卸売・小売業などで前年を下回り、同16.7%減少した。また、6月の企業倒産は、負債総額10億円以上の大型倒産の発生が続き、件数では前年比3.7%増となり、負債総額では同3.7倍となった。

## 《6月の業界動向》

### 建設業

6月の売上は、前年同月比で土木は25%増、建築は75%減となり、全体としては、土木公共事業費が増加、民間建築が激減で12%ダウンとなった。

売上は2次補正を含め、7月・8月に公共工事発注のピークを迎えることより、入札競争激化はあるものの、前年以上の売上増を期待する。ただし、民間建築についての受注は見込めない。

### 住宅業界

6月の受注は回復基調ではあるが、未だ厳しい状況が続く中、今後の受注にかかっているが公表予算レベルは達する見込みと予測している。全国の新築住宅着工戸数を見ても、昨年と比べると大幅に減少している。市場のパイの伸長が見込めない中、減収増益を目指す体制を再構築し、利益体質を確立しつつある。

持家縮小・マンション縮小の傾向にはあるが、リフォームが注目される中、当社グループでは不動産事業のほかに増改築事業等も行っているため、リフォーム等でもお客様のニーズに併せて提案している。消費者の関心が高いとされる省エネ商品の太陽光パネルを取り入れ、省エネ対応住宅の販売を行っている。

グループ一括仕入れ等により更なるコストダウンを図り、雇用・所得不安から住宅取得層のマインドは停滞しているが、税制面での優遇が住宅取得熱喚起となるよう期待したい。また、省エネ・太陽光発電住宅への関心が高まってきている。マンション分譲道内大手など老舗・中堅の倒産、廃業・撤退・事業規模縮小はこれからも継続すると思われる。エコ住宅や賃貸用小規模住宅に力を注ぎたい。

### 貨物運送業界

6月は、特積み貨物の収入は前年同月比を上回ったが、区域・通運部門については、昨年のリーマンショックの影響に天候不順が重なり、前年収入を下回る形となった。配送体制の見直し、経費削減の施策を実施し、利益を確保している。

7月についても天候不順が続いており、農産物の出荷状況が懸念される。

### 機械関連業界

6月の売上は前年同月比69.0%減、前月比21.6%減となった。昨年の6月は大型案件があった為、前年同月比の落ち込みは激しいものがあった。まだ底を打った感はない。自動車産業が若干の回復を見せていることから鉄鋼生産量も増加傾向にあるが、まだまだ力強さは見られない。今年度は現状が続くものと考えている。スクラップ高の傾向から鋼材価格の値上げ等が報道されている。厳しい状況が続く予想。

大手電機・流通等の再編が見られるようになってきたが、鉄鋼業界も外部環境(原料高・製品高)が改善されなければ再編機運が高まる可能性があるとの観測もある。動向を注視していきたいと思う。

## 情報関連

6月は、前年同期と比較し約15%の売上増加となった。道内で比較的規模の大きな機器調達案件とその導入作業があったことが最も大きな要因となっている。しかし、ソフトウェア開発などは前年比でマイナスとなっており、特に首都圏での売上は減少を続けている。

今後2、3ヶ月の売上の見通しとしては、景気の先行きが不透明な状況であり、企業のIT投資意欲はいまだに低迷していることから、特にソフトウェア開発で前年並みの受注量を確保することは難しいと思われる。今回のような規模の大きな機器販売案件などが無い限りは、売上は前年比で横ばいもしくはマイナスで推移することが予想される。

今後の需要が見込める文教、環境、公共の3分野のソリューションが注目されている。一般企業のIT投資が冷え込む中、数少ないビジネスチャンスを獲得すべく各社とも営業体制を強化させるなどの動きを活発化させている。

## 事務機・OA 関連

6月の売上は、前年同月比3.6%増であり、厳しい状況下で健闘できた。要因は、民間企業においては厳しい状況が依然と続いているが、自治体・文教市場においてIT商材の受注獲得によるものである。複合複写機・レーザープリンターにおいては買い控えが著しい。企業内インフラに最低限必要な周辺機器・ソフト等でありPCも買い控えの状況である。

7～8月の見通しとしては、民間企業においては厳しい状況が続いており、改善の動きに足踏み間がある中、「業務におけるコスト削減」に関わるIT商材の展開を推進していく。自治体・文教市場においては、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」から受注機会の展開を図る。

札幌市の補正予算の中で、学校教育環境（スクールニューディール）整備に6,711百万円が計上され予算が通過されると、特需として期待できる案件である。

## 総合スーパー業界

6月の売上動向は、既存店ベースの売上高前年比が94.8%、客数前年比は95.2%、客単価前年比は99.6%、客単価の内訳は一点単価95.5%、一人当たりの買上点数104.3%で終了した。低価格志向が強まる中、一点単価の落ち込みを買上点数の増加でカバーし、客単価は若干の減少に止めたが、買い物頻度の減少に伴う客数の落ち込みが大きく、既存店の売上状況は曜日周りの悪さ以上に前年の低下幅が拡大した。買い物頻度の減少は、特売などの値下げ販売が集中する土曜、日曜の買い物で顕著に表われ、平日の買い物頻度が低下する傾向が見られることと、6月全般にわたっての気候の悪さも影響しているものと思われる。

先行きへの見通しとしては、競合各社の値引き合戦や、ポイント合戦が一段と激しさを増しており、お客様の購買行動も日々の食材として最低限必要な商品しか買わないという傾向が顕著になってきている中、小売業各社の低価格対応も企業体力の面で限界が近づきつつあると見ている。

業界全体として、店頭での万引き・商品の持ち出しや店内の銀行ATMの現金強盗

事件などが続出しており、最近頻りに喧伝されている景気の底入り感とは全く異なる景気の底割れ状況が背景にあるのではないかと思われる。

### 飲食業

6月度は、売上前年比 95.6%、客数前年比 95.2%であった。10 数年ぶりという降雨日が続く、全般的には出遅れ気味であった。札幌市内の店舗においては Y O S A K O I ソーラン祭りや札幌まつりの恩恵はあまりなかったようである。

総選挙が8月末に決まったので、先行きの7～8月の見通しは厳しいと予想される。

### 旅行業

6月の団体旅行については、対前年 101%、対前月より 110%アップの販売利益、売上は 98%達成となった。インフルエンザによる取消が最小限に抑えられた。その為団体旅行が貢献した。一般企業が（インフルエンザにより）出張を控えた為、個人旅行の単品（航空券、JR券）が減少した。個人旅行が減少し、個人旅行を控えた事が、夏場の旅行に影響が出る可能性がある。総体的には、当社としては上期予算を達成したが、下期には不安要素が多数ある。秋に想定される、インフルエンザの再来、企業間の業績の低下、燃油サーチャージの値上げ等、懸念材料が多い。旅行業界はかつてない危機感を持って仕事をしている。逆を返すと会社存続の危機の会社が出てくる。

シルバーウィークのお陰で個人旅行（特に海外）が押し上げられることで9月の売上は良いのではないかと考えている。個人旅行は、回復傾向にはあるが、上記にあげた不安要素が心配であり、それによって業績が変わる。もし、秋に上記の不安要素が的中した場合は、業界自体の再編と倒産が発生してくる可能性がある。一部の会社では、大幅なリストラ、賃金カット、勤務形態の変化にて対応が始まっている。この不況下の中で対前年を維持できれば良いが、暫くは、我慢の下期になると思う。合わせてインフルエンザは、マスコミ次第では、旅行業界のアキレス腱ではないか。

航空会社の減益により、燃油サーチャージが再び値上げになれば、順調に回復傾向にある海外旅行が不安定要素になりかねない。今年は業界は体力勝負と我慢の年になると思う。この3ヶ月が今年の勝負の月になる。

### ホテル業界

宿泊部門は、例年であれば観光のトップシーズンに入り売上が拡大する月であるが、新型インフルエンザの影響により、アジアを中心とする海外からの観光需要が激減し、また国内客もキャンセルが相次ぎ市内はもとより道内ホテルは、稼動、売上ともに前年を大きく下回る結果となっている。宴会需要も大きな学会、大会の減少により苦戦するが、ブライダル市場は順調に推移し、売上拡大傾向にあるレストランの飲食施設も観光客の減少で朝食売上が減少しているが、ランチ、ディナーについてはほぼ前年並みをキープした。

海外からの観光客は、新型インフルエンザの影響による減少傾向に歯止めが効かず、この夏は大きくマイナスする見込み。国内客については、夏休み旅行の動きが以前鈍く、お盆休み期間にも市内は空室が目立つ状況であり、また、選挙の日程によっては更に観光客の減少も考えられ、前年の数値を確保するのが困難と思われる。

また、秋から冬にかけての需要の先行きも見えぬまま、また新型インフルエンザの流行が始

まれば今年度は、近年にない観光客減少が避けられない状況となり、経営的にも苦しくなると思われる。宴会・飲食関係についても、衆議院選挙の影響により経済の停滞、鈍化傾向が強まり売上減少が懸念される。

景気低迷のおり各社年末商品の戦略検討を始めている。(忘新年会プラン・おせち料理・クリスマスケーキの内容、販売価格)また、各社新型インフルエンザ対策備品の備蓄確保に着手している。

## エネルギー業界

6月分の販売電力量は、オール電化住宅の普及に伴う時間帯別電灯の加入増はあったが、検針期間が前年に比べ短かったことに加え、産業用で生産調整の影響がみられたことなどから、22億2百万kWh、対前年伸び率7.2%減と前年実績を下回った。

特定規模需要以外の需要(自由化対象以外の需要)では、オール電化住宅の普及に伴う時間帯別電灯の加入増はあったが、検針期間が前年に比べ短かったことなどから、対前年伸び率4.1%減と前年実績を下回りました。

産業用で生産調整の影響がみられたことなどから前年伸び率9.1%減と前年実績を下回った。

特定規模需要(自由化対象需要)では、産業用で生産調整の影響がみられたことなどから、対前年伸び率9.1%減と前年実績を下回った。

大口電力は、「鉄鋼業」「機械工業」「紙パルプ」での生産調整の影響などから、対前年伸び率21.6%減と前年実績を大きく下回った。

## 定山溪

6月は、売上・取扱量が前年比5%減となり、外客の減少、首都圏のツアー客の減少が主な要因と思われる。また、市内及び近郊都市、郡部からのお客様も思った様に動かなかった。定額給付金等は好材料かと思っていたが、伸びに繋がらず。

7～9月迄の地域振興券での宿泊が多少あったが、使用期間の9月迄少し期待しているところである。また、地域挙げて滞在型商品も造成しており、PRも積極的に行うことによって集客増を見込みたいと考えている。

今から冬場の新型インフルエンザが心配である。各施設が万全を期して安心、安全な地域を目指し、集客に努めていきたいところである。

札幌商工会議所  
札幌商業界動向調査結果(6月)  
平成 21 年 8 月 5 日 発行

**【お問合せ・照会先】**

札幌商工会議所 総合企画部  
札幌市中央区北 1 条西 2 丁目 北海道経済センター  
TEL: 011-231-1330 FAX: 011-222-5215  
Mail: kikaku@sapporo-cci.or.jp